

環境・安全報告書

Environmental and Safety Report

2017



くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング



神東塗料

企 業 理 念

神東塗料は

1. 塗料事業を通じて社会の発展に貢献します。
2. 堅実と信用を第一に、
お客様に信頼される会社であり続けます。
3. 社員が愛着を持ち、
より誇りの持てる会社を目指していきます。

行 動 指 針

私達は

1. 知識、技術、技能のさらなる向上を目指します。
2. ルールとマナーを守り、
迅速、誠実に仕事に取り組みます。
3. 安全と心身の健康に留意し、
高い目標に向かってチャレンジを続けます。

C O N T E N T S

【会社情報】	
会社概要	3
ごあいさつ	4
事業所・海外関係会社紹介	5
【特 集】	
塗料ってどうやって作るの？	7
事業と社会のつながり ～意外!? 身近にある塗料～	9
【環境報告】	
事業活動のマテリアルバランス	13
コーティング・ケア活動 環境マネジメントシステム(ISO14001)	14
【安全衛生報告】	
労働安全衛生	15
保安防災	17
化学物質管理 ～購入から製品出荷まで～	18
従業員・地域とのかかわり	19
神東塗料のあゆみ	21

編集方針

当社は、2007年から環境報告書を発行し、本年で11回目の発行となります。昨年、特集記事の新設、報告内容の見直しを行いました。本年は環境対応形塗料の説明を充実させ、より多くのステークホルダーの皆様にご覧いただけるように制作しました。

【対象範囲】 神東塗料株式会社および関係会社

【対象期間】 2016年4月～2017年3月(一部期間外の情報も含まれます)

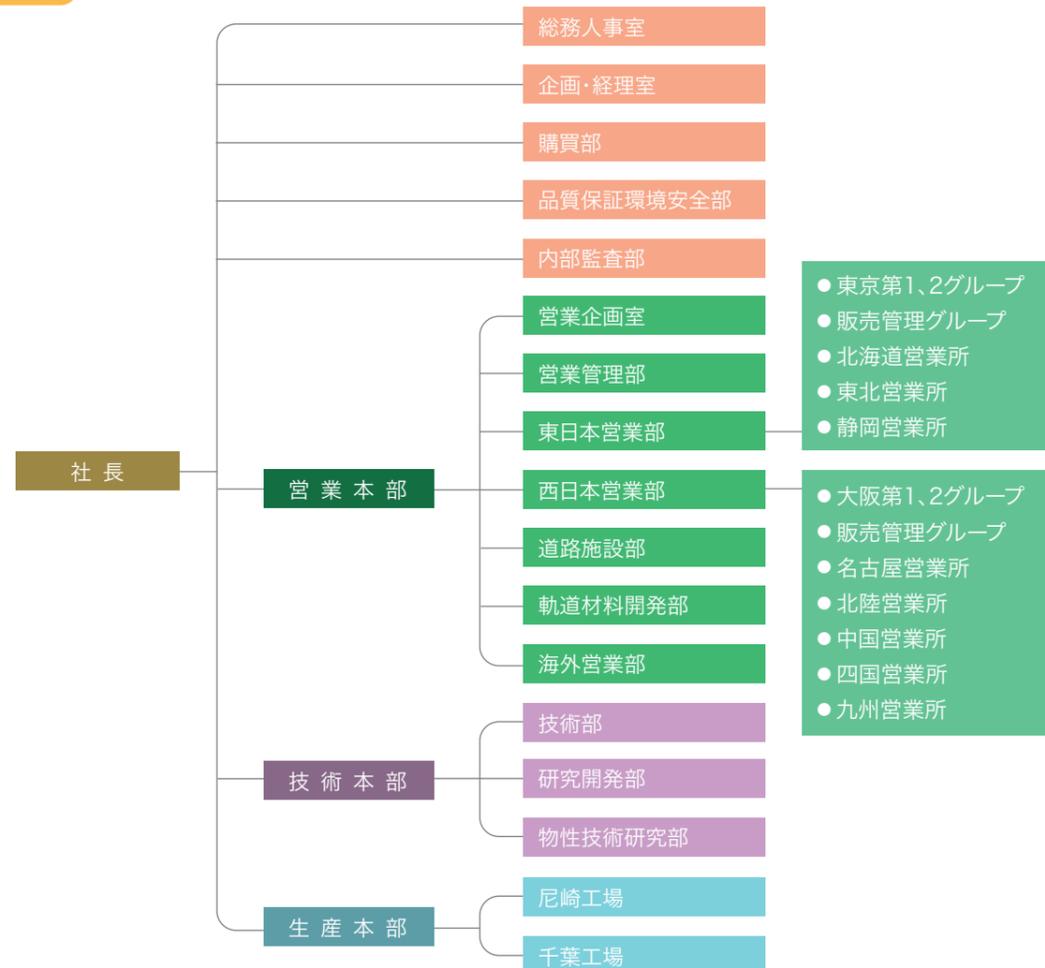
【今後の発行予定】 2018年9月





商号	神東塗料株式会社
本社	尼崎市南塚口町六丁目10番73号
設立	1933年4月17日
資本金	22億5,500万円
代表者	代表取締役社長 玉村隆平
従業員(連結)	419名(2017年3月31日現在)
決算期	3月末日
事業内容	1. 次の製品の製造、加工および売買 ■ 塗料、顔料、合成樹脂、油脂、化成品 ■ 電子機器、光通信機器、磁力機器および部品ならびにその材料 ■ 塗装設備およびこれに関連する機械器具装置ならびに材料 ■ 土木建築用資材および住宅用資材 ■ 前記各製品に関連するシステム 2. 前号に掲げる製品の輸出および輸入 3. 塗装工事その他各種建設工事の設計、施工および監理ならびにこれらに関する技術指導 4. 塗装設備およびこれに関連する機械器具装置の設備工事請負ならびに設計監理 5. 前各号に付帯関連する一切の事業

組織概要



昨今、企業に関して報じられているニュースは、収益の話題ばかりでなく、環境問題、安全や労務管理への対応など、様々な面で取り上げられることが増えてきました。このことは企業が経済活動だけでなく、社会の構成要素として多角的な評価を受けるようになってきた表れではないでしょうか。

このような中で、当社は企業理念の一つに「堅実と信用を第一にお客様に信頼される会社であり続けます」と掲げており、環境や安全衛生についてのCSR(企業の社会的責任)活動を通じて各方面のステークホルダーから信頼を得ることが、塗料事業を続ける上で最も重要な要素の一つであると位置づけています。

まず、当社が塗料事業を続ける中で、環境問題は切っても切れない重要な課題の一つであり、従来から環境保全の施策には積極的に取り組んでおります。

具体的には、当社工場におけるエネルギー使用量やCO₂排出量の削減等により環境負荷の低減を進めつつ、揮発性有機化合物(VOC)の排出を抑えた水系塗料、無溶剤塗料、粉体塗料等の環境配慮型製品の開発を積極的に推進しています。この環境配慮型製品の割合は業界平均を大きく上回り業界の中でもトップクラスの水準を保っています。

また環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001に基づき、全社において環境に配慮した活動を継続的に実施すると共に、日本塗料工業会が推進する「コーティングケア」(製品に係るすべての工程に対する環境、安全、健康面に対する自主管理活動)の実施を宣言し、着実な成果をあげています。

次に、安全面の活動についても事業継続の最重要課題の一つとして取り組んでおります。労働災害を無くすために従業員教育を推進し、作業手順・基準の遵守を徹底させ、危険予知(KY)活動や各種訓練の強化を図り、今後も無事故・無災害を目指して鋭意努力してまいります。

その他にも大規模災害などに対応する防災体制の構築や、公的機関及び近隣・地域社会とのコミュニケーションに努めるなど、様々なCSR活動を積極的に行っています。

当社は従来から化学物質が与える悪影響やリスクを正しく認識する中で、コンプライアンス(法令遵守)体制の確立を進めてきました。今後も企業としての社会的責任を果たし、品質・安全に配慮し環境保全に貢献できるよう一層の努力を図る所存です。

本年も当社の環境安全に関する活動の取り組みをまとめた「環境・安全報告書2017」をお届けいたします。当社の「品質、安全、環境」に対する取り組みについてご高覧いただき、皆様のご理解をいただければ幸いです。

今後とも皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2017年9月

代表取締役社長

玉村隆平



国内

当社は、国内に4つの事業所があります。事業所ごとに環境方針(スローガン)を掲げ、地域への環境負荷低減に努めています。

名古屋事業所



神崎事業所長

当事業所は、2000年に現在の場所に移転以来、愛知・岐阜・三重等の東海地区をテリトリーとする営業の拠点であると同時に、お客様から指定された色合いに製造する調色工場を有しており、多品種少量生産および短納期対応に、日々努めています。

周囲には一部、住宅も隣接している為に無事故・無災害を最優先とし、安全操業に努めており、当事業所の環境安全衛生方針に則って、省エネの推進、産業廃棄物の削減等を目標に環境負荷低減、環境保全に事業所全員で継続的に取り組んでいます。

地域住民の皆様とは、コミュニティー活動を通じてコミュニケーションを図りながら、日々環境改善活動を進めています。

東京事業所



黒田事業所長

当事業所は、1989年に操業開始し、東日本地域を担当する営業部門と技術部門、管理部門で構成されています。2002年2月にISO14001の認証を取得し、精力的に環境負荷低減と省エネ推進に取り組んでいます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり、東京都に事業所を置く我々としては、一層の省エネに取り組み、地域とのコミュニケーションを図り、さらなる環境改善活動に取り組んで参ります。



尼崎事業所



櫻田事業所長

当事業所は1940年に操業を開始した歴史ある事業所で、本社、技術・研究開発、営業、そして生産の各部門で構成しています。立地は名神高速道路の尼崎インターのすぐ北側に位置し、周囲三方を住宅地域に囲まれていて、周辺地域への環境対応に細心の注意を払っています。

当事業所では「安全・防災の確保」を第一に安定操業に努め、定期的計画的なパトロール等を行い「安全意識の向上」「完全ゼロ災害の定着」を進めています。環境面においても、ISO14001の認証を取得、更新を続け、また、尼崎市と「環境保全協定」を締結、関係法令・規則等を順守するとともに、環境負荷の低減に向けた評価、改善を進めています。そして周辺地域の皆様に対しては、「年末餅つき大会」「町内行事への協賛」「事業所周辺の清掃」等、地域の一員としてコミュニケーション向上に努め、当社の安全・環境等への考えや取り組みを理解していただくように努めています。

千葉事業所



光原事業所長

当事業所は、1965年に千葉県八千代市工業団地内で生産および物流拠点として、操業を開始しました。

八千代市は1996年、都心に直結する東葉高速鉄道が開通して以来、首都圏のベッドタウンとして急激に発展しており、工業団地周辺も高層マンションが隣立し、著しく環境が変化しています。

このような環境の変化に対して、当事業所は、2001年にISO14001の認証を取得し、環境方針に「資源を大切に 目指そう豊かな環境作り」のスローガンを掲げ、省エネ等の環境整備、産業廃棄物削減・リサイクル等の環境負荷低減、および安全安心な環境づくりに努めています。

「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」を目指した八千代市の取り組みの実現に向けて私たちは、環境負荷低減を図るとともに、地域共存に向けコミュニケーションに努めていきます。

海外

当社の海外技術提携の歴史は長く、1961年にオーストリア・ピアノバ社との技術提携を結んだことに始まります。その後も世界各国の塗料メーカーと技術提携や合併会社設立を進め、2013年にはインドネシアに自社工場を設立し、2016年にはベトナムに販売および技術サービス供給会社を設立しました。

国内のみならず海外においても高い品質管理のもと、お客様の要求に的確に応え製品の安定供給を実現してまいります。



TST



徳田Managing Director

TOA-Shinto Thailand(TST)は神東塗料とタイ最大手の塗料会社TOA PaintとのJV会社として設立され、本年で29年目を迎えます。2014年にはF-1工場と倉庫を兼ねた新社屋が完成しました。

世界経済の新たな成長エンジンとされるASEANの中心のタイを本拠に、神東塗料の環境にやさしい塗料を当地のお客様に安定的に供給しています。さらに今後はタイ周辺国へのビジネス拡大を目指します。

TSTでは全社で継続的な品質改善に取り組んでいます。本年5月にはISO9001:2015の認証を取得しました。当地の市場ニーズと神東塗料の技術力とのベストマッチングを実践し、塗料の製造および販売を通じ、ASEAN地域の経済発展と環境保全に努めて参ります。



F-1 製造設備

SMI



遠藤Production Director

当事業所はプカシ県デルタマス工業団地内に構え、2015年6月から本格生産を開始しました。主力ユーザーさまのTMMIN、NMI、PKI向けにF-1とF-2及び半製品を製造しています。また2016年12月からSWIフィリピンへF-2の輸出も始まり順調に稼働しております。

昨年SMIは品質と環境マネジメントシステム(ISO)の両者を認証取得したばかりです。

今年度は全従業員と全部署がISOの要求事項と活動目的を理解し「安定した品質で製品を供給」「近隣住民が安心して生活できる環境づくり」の取り組みとSPI技術、営業、購買と連携し「組織の利益アップ」に繋がる活動を取り組みます。

STV



菅原General Director

Shinto TOA Vietnam(STV)は神東塗料とタイ最大手の塗料会社TOA PaintとのJV会社としてベトナム社会主義共和国、ドンナイ省、ロンドック工業団地内に2016年4月に設立されました。当社の主な機能として、①各種塗料の輸入及び販売②当地におけるお客様へのテクニカルサービスの供給③当地における市場調査、及び新規顧客の開発等を行うべく2016年8月より営業を開始しております。

まだまだ設立されて間もない会社ではありますが、当地の規則を順守し、神東塗料グループの一員として当地への環境に優しい塗料の供給に努めて参ります。



塗料の原料

塗料にはさまざまな原材料が使われていますが、これを大別すると下表のようになります。

塗膜になる成分

樹脂 塗膜を形づくる主体となる原料です。

合成樹脂

アルキド樹脂、アクリル樹脂、ウレタン樹脂、エポキシ樹脂、ふっ素樹脂、(アクリル)シリコン樹脂、不飽和ポリエステル樹脂、メラミン樹脂、紫外線硬化樹脂、フェノール樹脂、塩化ビニル樹脂、合成樹脂エマルジョン、石油樹脂、ニトロセルロース、エチルシリケート、水溶性樹脂など

油類

あまに油、大豆油、ごり油、サフラワー油、トール油、ひまし油、やし油など

架橋剤・硬化剤など

樹脂と反応して硬化し塗膜を形づくれます。
イソシアネート、アミン類、イミダゾール類など

顔料 塗料に色を着けたり、塗膜に厚みをもたせたり、特別の性質を付与するために使用されます。

着色顔料

酸化チタン、亜鉛華、カーボンブラック、パーマネントレッド、ベンガラ、黄土、シアニブルー、シアングリーン、ベリレンレッド、キナクリドンレッドなど

さび止め顔料

亜鉛末、りん酸亜鉛、りん酸アルミニウム、モリブデン酸亜鉛、MIO(雲母状酸化鉄) など

体質顔料

炭酸カルシウム、クレー、タルク、硫酸バリウム、シリカなど

その他

アルミニウム粉、光輝性マイカ、ガラスビーズ、蛍光顔料、蓄光顔料、赤外線反射セラミック顔料など

添加剤 塗料、塗膜を安定させるためや、使いやすくするために使われるものです。

可塑剤・沈でん防止剤・その他改質剤など

塗料中の顔料の沈でん防止、流展性調整、色分かれ防止、塗膜の柔軟性、耐候性付与など、いろいろな改質を目的に添加されるものです。

アルキルアミン、ステアリン酸アルミニウム、ベントナイト、メチルセルロース、シリコン、各種界面活性剤、ナフテン酸金属石鹸、紫外線吸収剤など

塗膜にならない成分

溶剤 樹脂、油類を溶解または分散させ、流動性を与えるために使用されるものです。

有機溶剤・水

溶剤は樹脂によって溶解力に差があります。

石油系混合溶剤、ミネラルスピリット、トルエン、キシレン、ブタノール、IPA、セロソルブ類、MEK、MIBK、酢酸ブチル、酢酸エチル、水など

塗料ができるまで

塗料は主として樹脂・顔料・添加剤・溶剤を練り合わせてできます。近年、合成樹脂の多様化とその塗料化技術の発達により、同じ合成樹脂塗料でも用途により性質や性能の作り分けを行っています。そのため、コンピューターによる高度な生産管理システムが導入されています。

塗料の一般的製造プロセス

塗料は、前練→分散→調合→調色→ろ過→充填という製造工程を経て、できあがります。高度な生産管理により、高い品質、時代のニーズに応える塗料が今日も量産されています。

1 前練工程



樹脂や顔料、溶剤を混ぜて均一なミルベースをつくります。

2 分散工程



前練のミルベースを分散機に送り、顔料の粒子を細かく分散します。

3 調合工程



分散が完了したミルベースに必要な原材料をさらに加えます。

4 調色工程

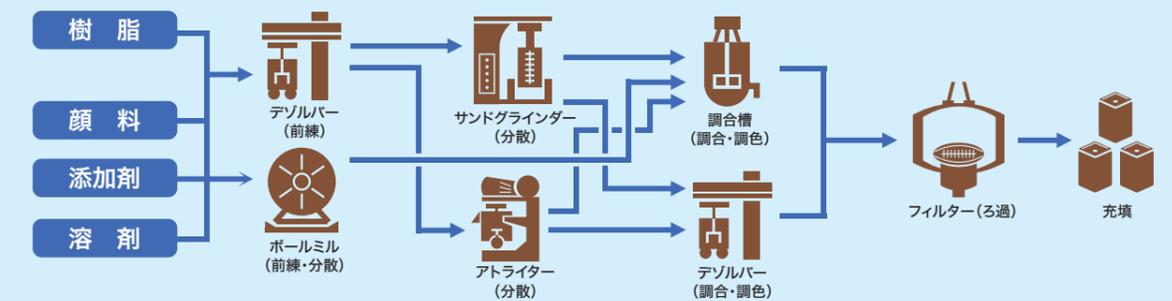


原色を加えて色を合わせます。

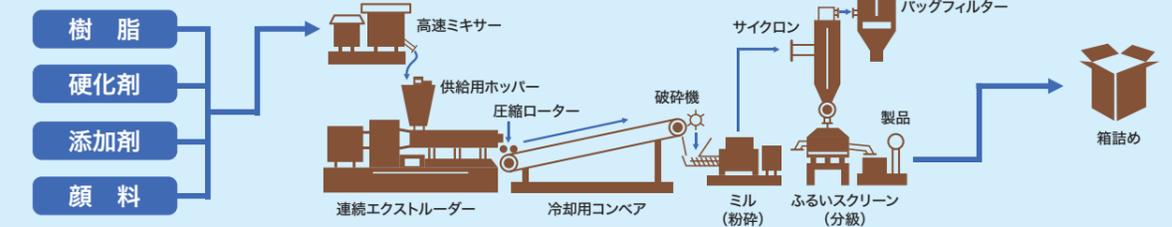
5 充填工程



できあがった塗料をろ過して容器に詰めます。



粉体塗料のできるまで



資料：(一社)日本塗料工業会 『日本の塗料工業16』

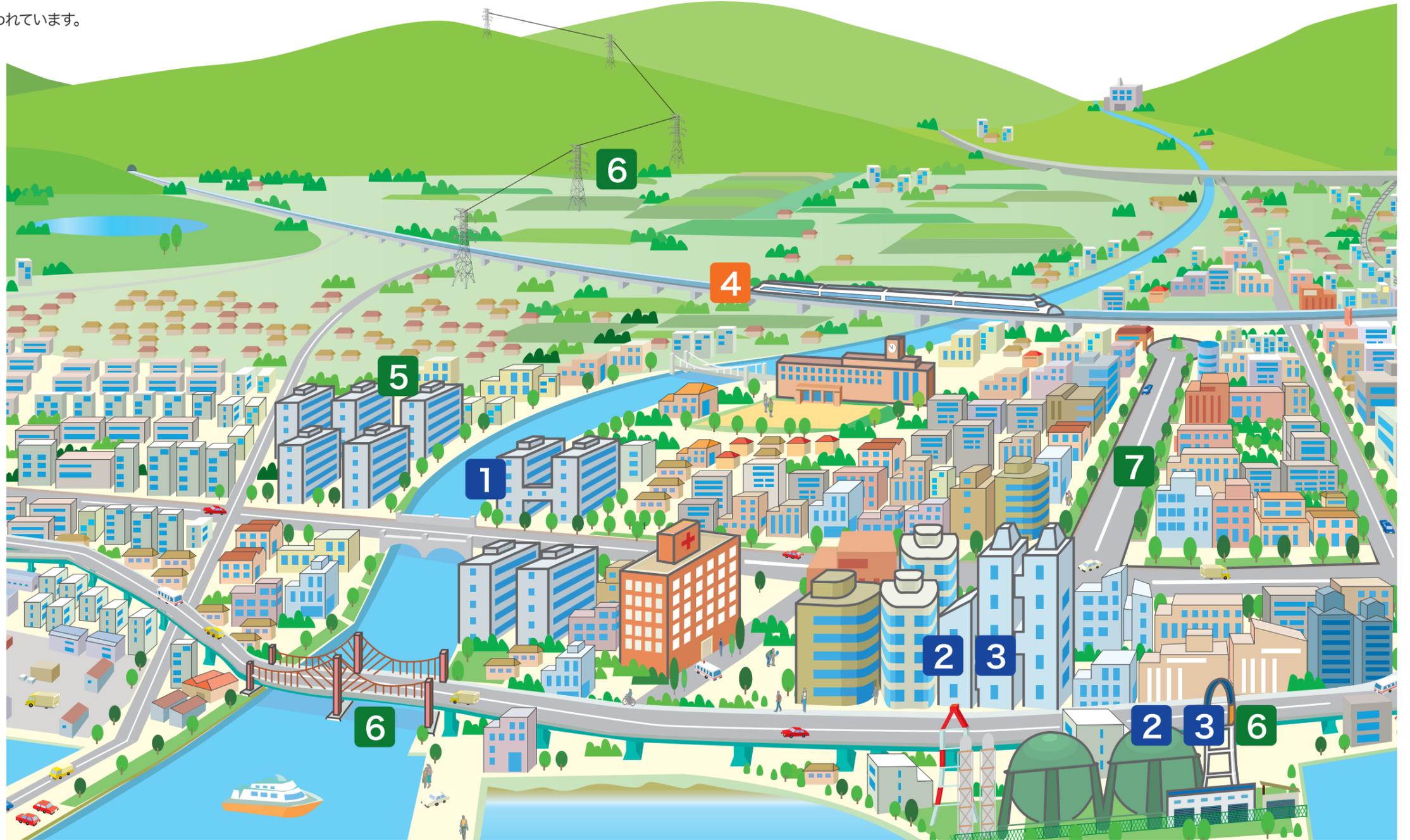


神東塗料の製品は、多種多様なシーンで使われています。

「塗料事業を通じて社会の発展に貢献したい」

という強い思いを胸に、製品を通じて

みなさまの生活を彩ってまいります。



1 電着塗料

- アルミサッシ エスピアALシリーズ
- 鋼製家具、建設機械、鋳物
 - ・シントーサクセードシリーズ
 - ・シントーエスピアシリーズ

2 粉体塗料

- 鋼製家具 イノボックスシリーズ
- 鋳鉄管 イノボックスシリーズ

3 工業用塗料

- 建設機械 タフポリンシリーズ
- 工作機械 タフポリンシリーズ
- サイディング Sセラムシリーズ
- 形鋼、鋼管 エスバシリーズ

4 軌道材料

- 道床安定剤 シントーオービットシリーズ
- スラブ補修材 シントーオービットシリーズ

5 建築用塗料

- 内装用 ページシリーズ
- 外装用 グランツシリーズ
- 屋根用 サーモバリアシリーズ
- 床用 ユカトップシリーズ

6 防食用塗料

- 橋梁 ●鉄塔 ●プラント
 - ・ネオゴーサーシリーズ
 - ・NY ポリンクシリーズ
 - ・シントーフロンシリーズ

7 道路施設用塗料

- 路面標示用 シントーライナーシリーズ
- カラー舗装用 ロードカラーシリーズ
- 段差修正材 SPダンフリー

Veitoe



営業企画室 課長
上田 真司

環境は最も重要なキーワードでありユーザーの関心が高いポイントです。製品が環境負荷低減に寄与するだけでなく、システムとして長寿命化を目指し、ライフサイクルコストの低減、資材・輸送など塗装工事に関わるエネルギーの削減も視野に入れ、活動していきます。

電着塗料 一液形極液無廃水環境対応形カチオン電着塗料『シントーエスピアC-ED』シリーズ

- 特長**
- ・ 各法的管理物質の規制に対応しています。(RoHS・REACHなどの海外規制に対応)
 - ・ 鉛、クロム等の重金属を含有していません。
 - ・ 1液補給型塗料であるため、極液の廃水が不要です。

※補給塗料が低酸型で浴液中の酸を利用して溶解するため電極に隔膜が不要で、極液の廃棄がありません。

- 用途** 電気製品、金属部品

- ラインナップ** シントーエスピアC-ED#280V
シントーエスピアC-ED#280V3(錫フリー型)

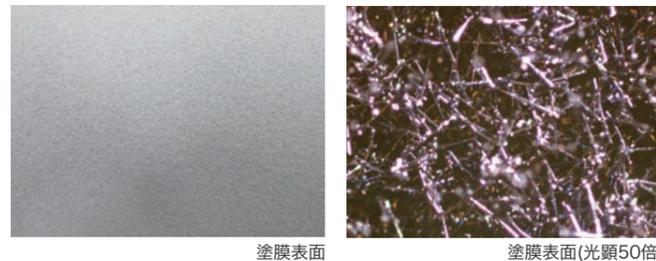
※オプションでエッジカバー形へのカスタマイズが可能です。



粉体塗料 機能性粉体塗料『植毛粉体塗料』

- 特長**
- ・ 布地のような独特の手触りがあり、塗膜表面の暖冷感覚が緩和されます。
 - ・ 1コートで塗装が可能です。(専用の塗装機が必要です)
 - ・ 粉体塗料下地色と植毛色の組合せにより、様々な色調が可能です。

- 焼付条件** 170°Cx20分被塗物保持



塗膜表面

塗膜表面(光顕50倍)

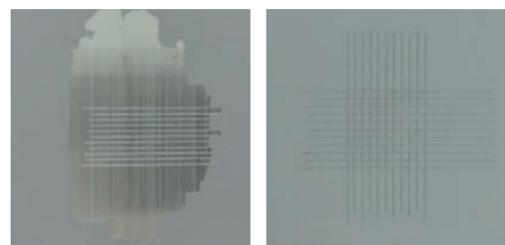
工業用塗料 1液特化則フリー特殊変性エポキシ樹脂塗料『シントーマルチプライマーSP』

- 特長**
- ・ 様々な素材への密着性に優れた有害重金属、TX、特化則フリーの環境対応形プライマーです。
 - ・ 様々な種類のトップコートをウエット・オン・ウエットで塗装することが可能です。
 - ・ 吸い込みが少ないため、トップコート本来の鮮映性を発現することが可能です。

- 用途** 建設機械、工作機械、車両部品、鋼製家具、鋼製容器、電気設備、各種金属製品等

- 適用素材**
- ・ SPCC-SD(ダル鋼板)、リン酸鉄処理板、リン酸亜鉛処理板、溶融亜鉛めっき鋼板、ボンデ鋼板
 - ・ SS400(黒皮鋼板)、SS400(ショットプラスト処理)、SUS304・2B(ステンレス)
 - ・ A1100(純アルミニウム)、A5052(アルミニウム合金)、A6063(アルミニウム合金)
 - ・ アルマイト処理板、ADC12(アルミダイキャスト)、真鍮、C1220(銅)

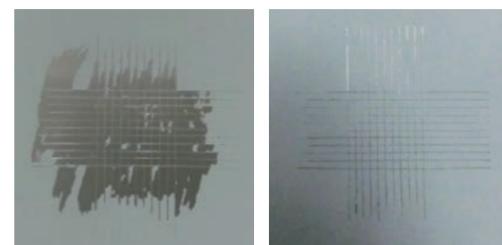
A6063(アルミニウム合金)



従来品

シントーマルチプライマーSP

SUS304(ステンレス)



従来品

シントーマルチプライマーSP

軌道材料 環境対応形・湿潤面用 道床安定剤『シントーオービット EPエコ』

- 特長**
- ・ 湿潤したバラスト*を固定することができます。
 - ・ 無溶剤形であるため、VOC低減の環境対応商品です。
 - ・ 溶剤・樹脂系道床安定剤に比べ、溶剤臭気が非常に少ない超低臭タイプです。
 - ・ 散布作業性やバラストへの浸透性に優れています。

- 用途**
- ・ バラスト道床横抵抗力の確保及び増強
 - ・ 余盛りバラストの崩れ及び流れ防止
 - ・ 橋台前後、踏切前後のバラストの崩れ防止
 - ・ 風圧、氷塊落下などによるバラスト飛散防止
 - ・ トンネル内など換気の悪い場所における作業者への負担軽減

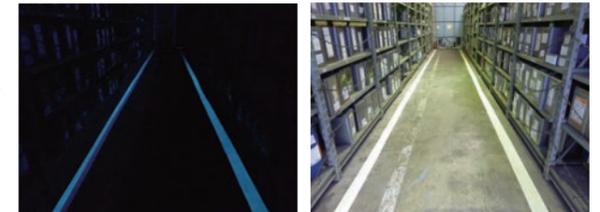


* バラストとは、マクラギと路盤(地面)の間に敷かれる砂利、碎石により構成された軌道構造の部分。その主な役割は、マクラギをむらなく保持してマクラギに伝わる列車荷重を路盤に広く均等に分散させ、軌道構造に一定の弾力性を持たせることです。

建築用塗料 厚膜型エポキシ樹脂系蓄光塗床材『ユカトップローラーエポ蛍』

- 特長**
- ・ 蛍光灯等から発せられる光エネルギーを蓄え、暗所になると蓄えた光エネルギーを放出して発光する蓄光材を配合した蓄光塗料です。
 - ・ 暗所で長時間発光するため、避難誘導用ライン等、災害による停電に備えた安全対策に最適です。
 - ・ 発光性能に加え、塗床材としての耐久性も兼ね備えているため、フォークリフト等の重車両が走行する工場床にも適しています。
 - ・ 作業が容易であるため、ローラーで簡単に施工ができます。

- 用途**
- ・ 屋内の非常口周辺床面、通路床面及びライン
 - ・ 工場床の段差周辺
 - ・ 階段等のステップ部



防食用塗料 弱溶剤形防食塗装システム『シントーマイルドシステム』

- 特長** 光化学オキシダント発生に影響の少ない弱溶剤(ミネラルスピリット)を使用し、重金属を使用しない防食塗装システムです。

ラインナップ

下塗	ネオゴーセーマイルド下塗(変性エポキシ樹脂塗料下塗) ネオゴーセーマイルド下塗HB(厚膜形変性エポキシ樹脂塗料下塗)
中塗	NYポリンKマイルド中塗(ポリウレタン樹脂塗料用中塗) シントーフロン#100マイルド中塗(ふっ素樹脂塗料用中塗)
上塗	NYポリンKマイルド上塗(ポリウレタン樹脂塗料上塗) シントーフロン#100マイルド(ふっ素樹脂塗料上塗) シントーフロン#100マイルドHB(厚膜形ふっ素樹脂塗料上塗)



道路施設用塗料 水性カラー舗装材『水性ロードカラーII』

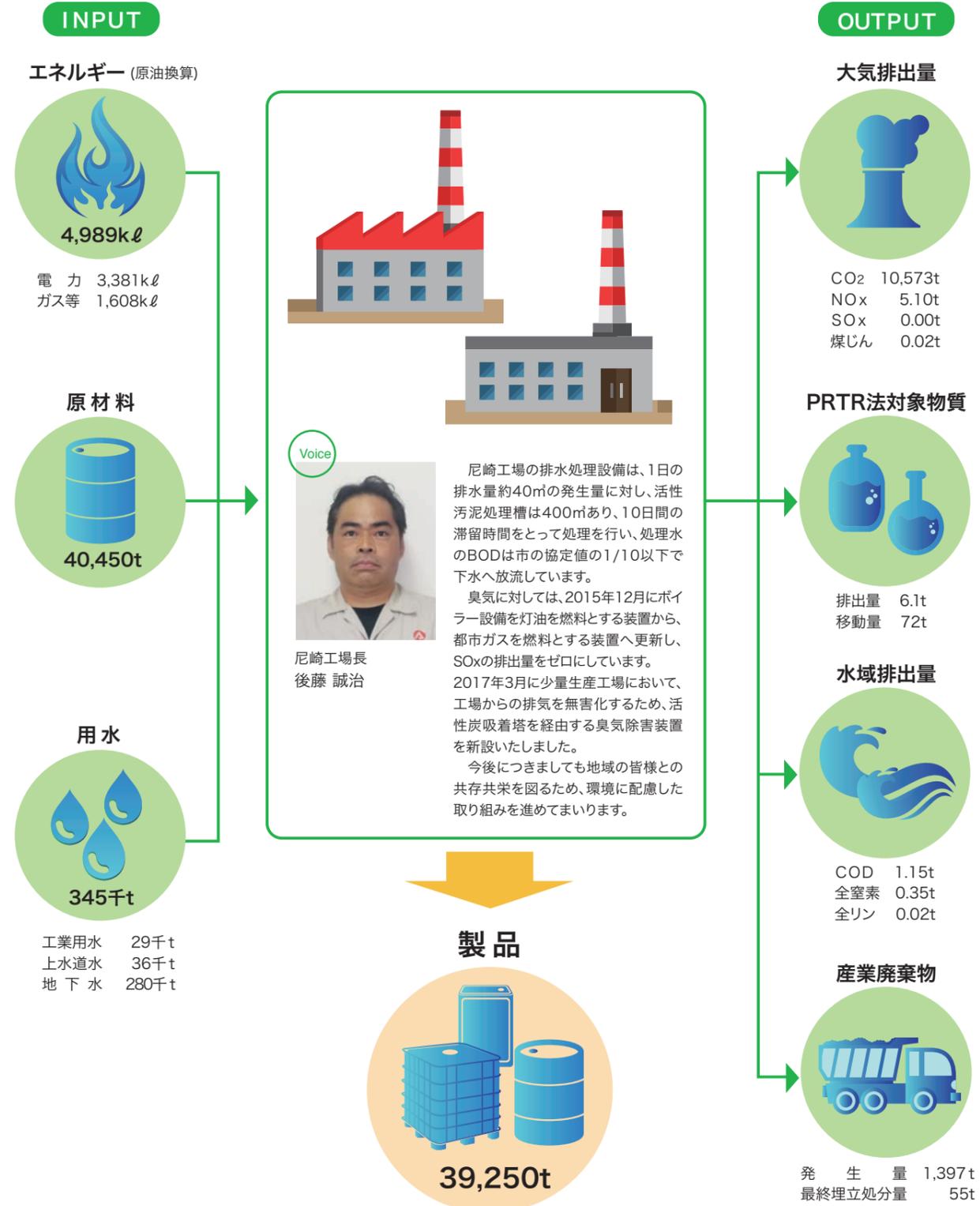
- 特長**
- ・ 路面をカラー化する塗料で、模様などのデザインだけでなく、通行帯の明示や区分としての交通安全対策にも適しています。
 - ・ 1液で水性タイプのため、安全で簡単に施工ができます。
 - ・ アスファルト面やコンクリート面に施工ができます。
 - ・ 艶がなく落ち着いた色調で、様々な色調に対応ができます。

- 用途**
- ・ 歩道、自転車道、公園などの屋外通路
 - ・ 競技場通路
 - ・ 遊園地などの屋外レジャー施設



事業活動のマテリアルバランス

神東塗料は、エネルギー原油換算4,989kℓ、原材料40,450t、用水345千tを使用し事業活動を行いました。
尼崎工場、千葉工場の環境負荷を把握し、エネルギー利用の効率化、原材料の有効利用、産業廃棄物の削減等を推進しています。



コーティング・ケア活動

「コーティング・ケア」とは、国際塗料印刷インキ協会 (IPPIC) が提案し、(一社)日本塗料工業会 (以後日塗工) が推進する塗料版の「レスポンシブル・ケア」で、塗料における製品の開発から製造、物流、使用、廃棄に至るまでのすべての過程において、環境・安全・健康面の対策を実行し、改善を図る自主管理活動です。

当社は、コーティング・ケアの精神に賛同し、神東塗料のすべての製品に対して、環境・安全・健康の自主管理活動を実施していくことを2002年2月1日に宣言しました。



環境マネジメントシステム (ISO 14001)

当社は、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を2002年1月に全社 (千葉・東京・尼崎の3事業所) で認証取得しました。このシステムは第三者機関により1年毎に実施される維持審査と3年毎の更新審査があり、全事業所ともに認証取得を継続しています。

	登録日	登録番号	審査機関
千葉事業所	2001年1月22日	JCQA-E-0215	日本化学キューエイ(株)
東京事業所	2002年1月28日	JCQA-E-0345	日本化学キューエイ(株)
尼崎事業所	2002年1月28日	JCQA-E-0346	日本化学キューエイ(株)

外部環境審査の実施状況

2016年度		
千葉	東京	尼崎
第1回維持審査	第5回更新審査	第5回更新審査
軽欠点:0件 改善の機会:2件	軽欠点:0件 改善の機会:4件	軽欠点:2件 改善の機会:1件



ISO 14001 認証書 (千葉)



ISO 14001 認証書 (東京)



ISO 14001 認証書 (尼崎)



外部審査の様子



神東塗料は、安全衛生を企業活動の根幹をなすものと考え、関係会社も含めてグループ全体で事故や災害を未然に防止するための活動を行っています。

労働安全衛生活動

1 全社安全衛生会議

全社安全衛生会議は、担当役員、各事業所長、事務局で構成され、従業員の健康と安全を確保し、労働災害、事故、化学物質等による危害を防止するとともに、快適な職場を作るための「安全衛生管理方針」の策定や安全衛生等に関する重要事項を審議し、ここで決定された「環境安全衛生に関する全社方針」に沿って各事業所で年間活動が策定され、実行されます。

2 安全衛生委員会

各事業所において、労使より選出されたメンバーと産業医により毎月安全衛生に関する事項を総合的に調査、研究、審議するとともに構内巡視を行い、職制に対し適切な指導を行い、職場の安全と健康管理等、快適な作業環境の形成を促進しています。

3 安全推進委員会

各事業所において、生産、技術、管理の各セクションにて安全衛生に関する診断を毎月行い、職場の安全衛生水準、職場環境の向上を図っています。

労働安全衛生監査

1 全社安全衛生監査

「みんなで守ろう作業手順、ゼロ災害への第一歩」のスローガンのもと、全社安全衛生監査を実施しています。生産部門は年2回、営業・技術・管理部門は年1回実施しています。監査員は、担当役員、生産本部長を代表とし、生産技術課長、他事業所代表、労使役員、事務局で編成し、各事業所を1日かけて、安全・衛生等の監査、診断を行います。指摘事項については直ちに改善し、次回の監査時に改善状況の報告を義務付けています。



監査風景①



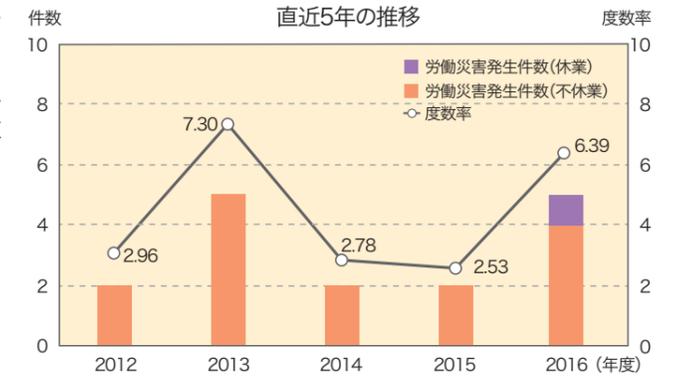
監査風景②

2 安全衛生パトロール

毎月、事業所長、安全管理者、安全衛生推進者が事業所内をパトロールし、安全衛生に関する指摘および改善確認を実施しています。

労働災害統計

「みんなで守ろう作業手順、ゼロ災害への第一歩」のスローガンのもと、無事故無災害を目指して、安全教育の充実と3S活動（整理・整頓・清掃）等の安全活動の確保に向けた取り組みを進めています。作業手順・基準の徹底順守、危険予知訓練の強化、ヒヤリ・ハット事例の抽出と横展開を進め、日々努力しゼロ災を目指しています。



保全改善活動

労働安全衛生活動の一環として3S（整理・整頓・清掃）保全活動を積極的に取り組んでいます。従業員が自分達でアイデアを出し合い、工夫しながら安全で快適な職場作りを実施しています。また、3S保全活動のベストな状態を写真で掲示することで、見える化を維持・推進しています。



保全改善活動①



保全改善活動②

TPM活動(Total Productive Maintenance)

生産効率の向上、災害ゼロ・不良ゼロ・故障ゼロ等あらゆるロスを未然に防止する取り組みを通して、作業改善・設備改善・人材育成等を継続的に実施しています。



(活動前)



(活動後) 改善点: 見ええが良くなり、作業効率がアップした。



保安防災への取り組み

事業継続計画(BCP)について

地震などの災害による被害発生に対し、企業はできるだけ早期に操業を回復させることにより、損失を最小限に抑え、事業を継続させていくことが重要です。そこで当社においても、事業継続計画(BCP)の策定に取り組んでおり、被害発生時の初動体制や生産体制の確立、システム維持の体制等を整備するとともに、災害に強い設備への是正や防災に対する従業員の教育・訓練にも力を入れております。

また、災害時の近隣対応なども適切に行うことにより、企業の社会的責任を果たすとともに、より実効性ある計画にすべく、今後とも内容の向上に積極的に取り組んでいく所存です。

	対策の一例と進捗具合	
本社	基幹システムサーバの移設 主要原料の購入先の複数化 緊急生産品目の抽出 安否確認システムの導入	実施済 実施中 抽出中 検討中
尼崎事業所	【津波対策】浸水対策の実施 非常食の備蓄 非常時発電設備の導入	計画中 実施済 実施済
千葉事業所	非常食の備蓄 非常時発電設備の導入	実施済 実施済
東京事業所	非常食の備蓄 【津波対策】避難訓練の実施	実施済 実施済

1 環境防災訓練

当社は化学物質を取り扱っており、事故や災害の防止のために様々な活動を行っています。塗料製造工場の尼崎・千葉両工場では、毎年、火災・漏洩事故を想定した消防訓練を消防署と連携して実施し、防災意識の高揚および緊急対応力の向上に努めています。



環境防災訓練(尼崎事業所)



環境防災訓練(千葉事業所)

2 火災予防訓練

東京事業所では、春・秋の火災予防運動に併せて、東京ユージ防災(株)のご協力のもと、放水訓練・消火訓練・避難訓練を実施し、意識の高揚に努めています。



火災予防訓練(東京事業所)



消防訓練(名古屋事業所)

3 消防訓練

名古屋事業所では、小規模ながら顧客の指定する色合いに塗料を仕上げる調色工場があることから、防災意識高揚のため、地元消防署と合同で消防訓練を実施しています。

4 自衛消防隊消防操法訓練

尼崎、千葉事業所では、尼崎市および八千代市の防火(防災)協会が主催する自衛消防隊消防操法大会に毎年参加しています。2016年度は、屋内消火栓の部に準優勝し表彰されました。



尼崎市消防操法大会(屋内消火栓の部)



自衛消防隊消防操法大会(屋内消火栓の部・準優勝)



初期消火の部

化学物質管理の取り組み

当社は、環境負荷の少ない製品を開発・販売するために原材料や包装材料などについて「グリーン調達基準書」を作成し、お取引先様との協同によりグリーン調達を進めています。原料として使用する化学物質については公共機関からの情報や原料のSDS情報をもとにデータベース化を行い、リスクアセスメントを実施し管理しております。製品を安全にご使用いただくため、国際的な基準であるGHSに基づきすべての製品のSDSを随時更新し、最新版を顧客、代理店の皆様に提供しています。

また、製品ラベルは、SDSシステムと連動させることにより、製品の内容・危険性・取り扱い方法等を的確に表示する様、随時見直しています。さらに、製品輸送時の安全確保のため、輸送者には輸送時に携帯するイエローカードを配付しています。

1 グリーン調達基準書

ホームページで公開しております。ご理解とご協力をお願いいたします。

<http://www.shintopaint.co.jp/purchase/index.html>

2 リスクアセスメント

事業場にある危険性や有害性の特定、リスクの見積り、優先度の設定、リスク低減措置の決定の一連の手順のことです。事業者は、その結果に基づいて適切な労働災害防止対策を講じる必要があります。2016年6月より労働安全衛生法により化学物質について実施が義務づけられました。

3 SDS(Safety Data Sheet)

製品安全データシートの略です。化学品に関わる事故を未然に防止することを目的に、環境に対する影響や安全性、取り扱い方法を記載したもので、化学品供給者から使用者、取り扱い事業者へ労働安全衛生法、PRTR法、毒物および劇物取締法などにより提供が義務付けられています。

4 製品ラベル

法令に定められた内容を表示したラベルを製品に貼付して、使用者に安全な取扱いのための注意喚起を行っています。



危険有害性の絵表示

5 イエローカード

化学製品を輸送する乗務員が、事故時等において乗務員あるいは近くの代行者が迅速な対応を図ることができるように、事故時の措置及び連絡・通報先等を記載した緊急連絡カード(黄色の用紙)の通称です。

記載項目には、事故時の応急処置、緊急通報内容、緊急連絡先、漏洩飛散、火災、発火時の処置法、及び救急措置法等が記載されています。



Voice



当社においては、環境負荷低減に常に配慮しており、原材料や包装資材の選定・調達においても最優先で努力をしているところであります。今後も時代の要請に沿った、環境負荷の少ない原材料・包装資材の調達に努め、環境保全に貢献していく所存です。

購買部長 東 宗克



従業員とのかかわり

1 人材育成

当社では、従業員が個々の能力を最大限に発揮し、やりがい
働きがいを持って働くことができるよう階層別教育体制の整備、
部門別若手育成計画の推進等を行っております。

Voice



総務人事室 部長
上鶴 茂喜

2020年に持続的な売上高・利益を
あげる会社を目指して、従業員の皆さんが、それぞれの持ち場・立場で持て
る力を最大限に発揮できるよう、人事
制度の適正な運用、若手層の早期育
成を含めた各層への教育等を実施し
ていきます。

2 働きやすい環境づくり

ワーク・ライフ・バランス検討委員会の設置

一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、人生の各段階に
応じて多様な生き方が選択・実現できる社会を実現するため、企業と従業員とが協調して生産性の向上に努めつつ、職場の意識や職場
風土の改革とあわせ働き方の改革に自主的に取り組む活動の一環としてワーク・ライフ・バランス検討委員会を設置しました。

ストレスチェックの導入

従業員の心の健康は従業員とその家族の幸福な生活のために、また事業場の生産性向上および活気のある職場づくりのために重要
な課題であります。メンタルヘルス不調の未然防止の段階である一次防止を強化することを目的として、ストレスチェックを実施します。

高齢者雇用への対応

定年退職者のもつ経験及び知識を活かすために、60歳以降も働く意欲のある従業員を雇用する継続雇用制度を設けております。

年度	2012	2013	2014	2015	2016
常用雇用者数(人)	60	66	49	48	38

障がい者雇用への対応

障がい者の方の雇用については、法定雇用率を上回る取組を推進しています。

年度	2012	2013	2014	2015	2016
障がい者雇用率(%)	2.09	2.00	2.09	2.13	2.13

育児休業取得への対応

2016年度に出産した女性社員の育児休業の取得率は100%でしたが、男性社員の取得率は、まだまだ低いのが実状です。
引き続き、仕事と育児の両立を支援する職場環境等の整備を行い、働きやすい職場環境の継続に努めてまいります。

地域とのかかわり

地域社会との交流

「社会との共存」のため、さまざまな活動を通じて地域社会とのコミュニケーションに努めています。
尼崎事業所では地域社会との交流を目的に、毎年12月に近隣住民の皆様を招待し餅つき大会を行っており、毎年約100名の方が
参加されています。



事業所周辺のクリーンアップ活動

国内の4事業所(尼崎、千葉、東京、名古屋)において周辺の美化、清掃等の地域環境美化運動を定期的に行い、きれいでさわやかな街づくりに
協力しています。



尼崎事業所



千葉事業所



東京事業所



名古屋事業所



1933年4月7日の創業以来、神東塗料は「塗料事業を通じて社会の発展に貢献したい」という強い思いを胸に、堅実と誠実を第一に今まで歩いてまいりました。その思いは、今後も変わることはありません。

先人が築き上げてきた道を未来につなげ、「豊かで快適な生活」のために――
神東塗料は今後も皆さまと一緒に歩いてまいります。

社章に秘めた思い

創立当初、神東塗料はウロコ印の商標を使用していました。1970年10月、現在の新しい社章が制定されました。神東の社章はshintoの頭文字S(小文字の筆記体)を図案化したもので、その三角形に近いデザインには、神東の創業精神である“三和の精神”“真善美三位一体の精神”が込められています。



創立時の社章



現社章



千葉工場操業開始

神東塗料の新たな東の拠点として千葉工場を建設。



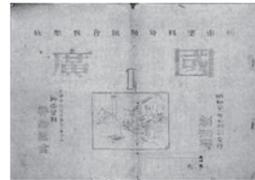
当社母体神戸ボイル油創業

神戸ボイル油の初代社長・大西米太郎は現在の兵庫県加東市生まれ。もとは呉服商を営んでいましたが、ひそかに自宅の煮釜でボイル油の研究を始め、苦心の末、1901年に個人経営の「神戸ボイル油製造所」をつくり上げました。その後、1910年に数氏の出資を得て株式会社に改組しました。



労働組合結成

1946年4月神東塗料に労働組合が結成されました。



東京工場復興

1948年3月、ワニス工場とボイル油工場に火入れが行われ、東京工場は東京大空襲からの復興を成し遂げました。



住友化学工業株式会社(現 住友化学株式会社)と資本・技術の提携

神東塗料創立

1933年、神戸ボイル油と東洋塗料製造が合併して神東塗料が創立されました。

1901年
(明治34年)

1933年
(昭和8年)

1938年
(昭和13年)

1946年
(昭和21年)

1948年
(昭和23年)

1965年
(昭和40年)

1982年
(昭和57年)

1985年
(昭和60年)

1988年
(昭和63年)

1989年
(平成元年)

1991年
(平成3年)

1996年
(平成8年)

1997年
(平成9年)

2000年
(平成12年)

2001年
(平成13年)

2012年
(平成24年)

2013年
(平成25年)

2016年
(平成28年)

インドネシアに販売会社、PT.Shinto Paint Indonesiaを設立
中国に販売会社、神之東塗料貿易(上海)有限公司を設立

インドネシアに生産子会社、PT.Shinto Paint Manufacturing Indonesiaを設立



全社でISO14001認証登録

全社でISO9001拡大認証登録

塗料販売会社、株式会社九州シントーを設立

マレーシア・EXTRA社と合併会社SHINTRIAを設立

ドイツ・HERBERTS社と合併会社神東ハーパーツ・オートモティブ・システムズ株式会社(現 神東アクサルタ コーティング システムズ株式会社)を設立

フィリピン・WELBEST社と合併会社SHINTO-WELBESTを設立

江東区新木場に新東京事業所開設

タイ・TOA社と合併会社TOA-SHINTO (THAILAND) を設立

台湾神東化学股份有限公司(現 神東艾仕得塗料系統股份有限公司)を設立

塗料販売会社、株式会社北海道シントーを設立

TQC導入

生産部門中心の品質管理から社全体での総合的品質管理に舵を切るべく、1981年からTQC(トータル・クオリティ・コントロール)の検討を開始。役員・部長クラスが集まって勉強会と協議を重ね、1982年7月、TQCが導入されました。

 神 東 塗 料 株 式 会 社

お問い合わせ先

品質保証環境安全部

〒661-8511 尼崎市南塚口町六丁目10-73

TEL. 06-6429-8341 FAX. 06-6429-6216

E-mail hinkan@shintopaint.co.jp

<http://www.shintopaint.co.jp/>

